

令和6年度 学校評価（自己評価）結果

1 教育理念・目標 評価（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1）

	評 価 項 目	評価結果
1	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0
2	・学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	3.7
3	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3.8
課題等	・教育理念・目標は、学生便覧、ホームページ、パンフレット、募集要項に明文化して周知を図った。 ・教育課程編成委員会において、業界のニーズの収集に努めた。 ・学校評価アンケートを保護者等に依頼し、ニーズに沿った教育を行うよう、努力した。	
改善策	・教職員の人事評価制度を導入し、全教職員が本校の教育理念・目的・育成人材像に沿って個別目標を立てて、教育活動に取り組み、教育理念等の共有に努めている。今後も人事評価制度による教育理念等の共有に努める。 ・各ポリシーを、該当する事項（入試、単位認定、卒業認定など）を検討する際に確認しながら進める。	

2 学校運営 評価（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1）

	評 価 項 目	評価結果
1	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9
2	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.9
3	・人事・給与に関する規定等は整備されているか	3.7
4	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.8
5	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.0
課題等	・学校運営組織（校務分掌）を作成し、教職員それぞれの職務分掌を文書化した。 ・SNS（X、Instagram、ライン）の充実を図り、リアルタイムでの教育活動周知に努めた。 ・入試広報部が校内のIT、DX全般の整備を担当し、円滑な情報システムの運営を図った。 ・理事会の決定事項は、校長から職員会議で全教職員に報告し、運営方針を共有している。 ・業務の効率化を図るため、複数の業者と折衝し、教務システム導入を検討している。 ・校内のWi-Fi環境の拡充、パソコン室のパソコン全面入替などを通して情報システム構築化を図っている。	
改善策	・職員会議等を通じて、学校運営等の情報共有を図る。 ・来年度からの導入を目指し、教務システムについて情報収集や検討を引き続き進める。 ・ホームページ、SNSの一層の充実を図る。	

3 教育活動

評価（適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1）

	評価項目	評価結果
1	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.9
2	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7
3	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.9
4	・関係施設等と連携による実践的な職業教育（実習等）が行われているか	3.7
5	・授業評価の実施・評価体制はあるか	3.9
6	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.3
7	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4
8	・関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.4
9	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.3
課題等	・教育目的および育成人材像に基づきアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを明示し、パンフレット、募集要項、ホームページで周知を図った。 ・学生に対する授業評価と、教員間の公開授業を行い、授業の質保証に努めた。 ・両科とも、実践現場の方をゲストティーチャーとして招き、より実践的な授業に努めた。 ・保育科は、系列の認定こども園専修大学北上幼稚園と連携を強化し、1年次のプレ実習を実施した。 ・外部講師を招き、カウンセリングマインドに関する職員研修を実施した。 ・Microsoft Teams の運用に努めた。 ・60周年記念事業を展開するにあたり、本校の教育理念を確認し、発信した。	
改善策	・Microsoft Teams の学生、教職員の運用の拡大と日常化を図る。 ・両科とも、実践現場との連携をいっそう強化する。	

4 学修成果

評価（適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1）

	評価項目	評価結果
1	・就職率の向上が図られているか	3.8
2	・資格取得率の向上が図られているか	3.9
3	・退学率の低減が図られているか	3.6
4	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.6
課題等	・スクールカウンセラーによる学生相談室開設の回数を増やし（年23回）、退学率の低減を図ることができた。 ・キャリアコンサルタントによるキャリア講座を開講し、就職対策を強化している。 ・卒業生の動向について、卒業生の就業先訪問で把握し、各科の教員間で情報を共有している。	
改善策	・学生相談は、担任を窓口としながら、学生部や、スクールカウンセラー、キャリアコンサルタントによる面談の充実を図る。 ・卒業生の動向について、卒業生就業先訪問で把握するよう努める。	

5 学生支援

評価（適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1）

	評価項目	評価結果
1	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.0
2	・学生相談に関する体制は整備されているか	4.0
3	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.7
4	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.8
5	・保護者と適切に連携しているか	3.6
6	・卒業生への支援体制はあるか	3.6
7	・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.8
課題等	・後援会総会と研修会を開催し、保護者と適切に連携した。 ・成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、面談を行った。 ・昨年度に引き続き、校内で同窓会総会を開催し、卒業生の動向を把握するよう努めた。 ・毎年、同窓会報を作成し、学校情報を卒業生に伝えている。 ・キャリアコンサルタントによるキャリア講座を開講し、キャリア形成育成支援や、社会人基礎力養成を実施している。	
改善策	・多様な学生に対応するため、学外の専門家を積極的活用し、学生相談を行う。 ・同窓会総会を校内で行うことで、より同窓生が参加しやすい形で継続する。	

6 教育環境

評価（適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1）

	評価項目	評価結果
1	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.2
2	・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.3
3	・防災に対する体制は整備されているか	3.1
課題等	・第一体育館跡地のグラウンド整備を継続して行っている。 ・体育館（旧第二体育館）の授業での活用を進めている。 ・使用頻度の高い特別教室等へのエアコン設置を行った。 ・これまでの避難階段の解体後、避難階段を新たに設置し、避難体制の整備に努めた。 ・旅行経費の高騰等に対応して、海外研修のニーズ調査を実施した。 ・防災のために、総合訓練（消火・通報・避難）の実施を予定している。	
改善策	・引き続き、教室環境の整備等を進める。 ・グラウンドの整備を引き続き行い、授業や学生生活の充実を図る。 ・学生へのニーズ調査に基づく海外研修の見直しを行う。	

7 学生の受け入れ募集 評価（適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1）

	評 価 項 目	評価結果
1	・学生募集活動は、適正に行われているか	3.7
2	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.7
3	・学納金は妥当なものとなっているか	3.8
課題等	・進学ガイダンスへの参加回数を増やし、学生募集に努めている。 ・ホームページや SNS を活発に活用し、生徒や保護者にわかりやすく、見やすい（スマートフォン対応）学校情報を提供している。 ・オープンキャンパスを複数日にわたって開催し、高校生が参加しやすい状況作りに努めた。 ・毎月 1 回、学生募集強化委員会を開催し、募集活動を強化している。 ・職業安定所を訪問するなど連携を深め、社会人学生の募集に努めている。	
改善策	・進学ガイダンスでの内容の充実や、教員間の共通理解を図り、高校生のニーズに即した質の高い、学生募集を展開する。 ・引き続き、進学ガイダンスや高校訪問を行う。 ・学生募集や入試への web の活用について検討を進める。	

8 財務 評価（適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1）

	評 価 項 目	評価結果
1	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.4
2	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6
3	・財務情報公開の体制整備はできているか	3.7
課題等	年度途中であっても、予算の執行状況をモニターし、効果的な予算執行に努めた。	
改善策	・法人本部で適正に管理・実行している。 ・財務状況はホームページで公表している。 ・予算執行状況を把握し、選択と集中により効率的な予算運用に努める。	

9 法令等の遵守 評価（適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1）

	評 価 項 目	評価結果
1	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
2	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8
3	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4.0
4	・自己評価結果を公開しているか	4.0
課題等	・法令、専修学校設置基準を遵守し、適正に学校運営した。	
改善策	・学校評価は、自己評価と学校関係者評価の結果をもとに、自己評価委員会で話し合った後、職員会議に諮り、外部委員から客観的に検証する過程で実施することを継続する。	

10 社会貢献・地域貢献 評価（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1）

	評価項目	評価結果
1	・学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.7
2	・学生のボランティア活動を奨励しているか	3.8
3	・公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）を積極的に実施しているか	3.4
課題等	・60周年事業を通じて、地域への発信・交流を行った。 ・高校生対象に出前講座と、認知症サポーター養成講座を行った。 ・放課後等デイサービスのレクリエーション会場として、本校の教室を貸し出すとともに、学生との交流の機会とした。 ・NPO 法人と連携し、近隣の公民館で介護予防教室を開催した。 ・学生によるボランティア参加数が増加した。 ・学生部がボランティア受付窓口となり、学生へボランティア情報を周知し、活動を奨励している。 ・高等学校に対して公開講座案内のチラシを配布し、積極的に公開講座を実施している。 ・北上市生涯学習まちづくり出前講座に2講座（保育、介護）メニュー登録し、地域住民に対して公開講座の周知を図っている。	
改善策	・引き続き、ボランティア機会の拡充を図る。 ・公開講座等の積極的な展開に努める。	

11 国際交流 評価（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1）

	評価項目	評価結果
1	・留学生の受入れ・派遣について戦略を行っているか	3.9
2	・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続きがとられているか	3.8
3	・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3.8
課題等	・北上市国際交流協会と連携し、留学生が国際交流イベントに出展ブースを設け地域交流を行った。 ・留学生を対象とした学校見学会（2回）、会場型ガイダンス（3回）、を実施し、戦略的に募集活動を実施している。 ・北上市内の介護施設に留学生受け入れ意向アンケートを依頼し、留学生受け入れが促進するよう取り組んでいる。 ・地域住民や、高校生と交流できる行事を企画し、国際交流に取り組むよう努めている。 ・留学生の文化的背景等を考慮して、学習環境の整備に努めた。	
改善策	・日本語学校を中心に、留学生募集活動を引き続き強化する。 ・多様な地域からの留学生受け入れ体制を引き続き構築する。	